



# ADRC Highlights

Vol.115

Asian Disaster Reduction Center Biweekly News

1 May 2005

## ➤ 国際防災復興協力セミナー 公開シンポジウムを開催します

このたび、内閣府、国連国際防災戦略事務局 (UN/ISDR)、国連開発計画 (UNDP)、国連人道問題調整事務所 (UN/OCHA)、国際労働機関 (ILO)、世界銀行、独立行政法人 国際協力機構 (JICA)、国際防災復興協力セミナー実行委員会 (兵庫県、アジア防災センター) との共催により、「国際防災復興協力セミナー 公開シンポジウム よりよい復興への挑戦～災害に強い社会に向けて～」を2005年5月12日 (木) の14:00～17:00、兵庫県公館大会議室 (神戸市中央区) にて開催します。

今年1月に開催された国連防災世界会議において、大規模災害後の復興がよりスムーズかつ適切に行われるためには、国際社会が連携して支援する体制の構築が必要との合意がなされました。

これを受けて、この5月11日に、復興に関する国際支援の総合的な窓口機能を目指す「International Recovery Platform (IRP、国際防災復興協力機構)」が兵庫県神戸市で活動を開始することとなりました。

今回のシンポジウムは、これを機に開催するもので、当日は、国際機関、大規模災害被災経験国、NGO等の関係者により、大規模災害からの復興の課題や国際的な復興協力活動のあり方等について、議論を進めていきます。

参加費は無料で、どなたでも参加できるこのシンポジウムでは、現在、参加希望者を募集しております。希望される方は、2005年5月9日までに氏名・職業・住所・電話/FAX番号を「国際防災復興協力セミナー事務局」宛にメール (irpseminar@adrc.or.jp) もしくはFAX (078-262-5546) にてお申し込みください。http://www.adrc.or.jpでも詳細を掲載しております。みなさまのご参加をお待ちしています。

## ➤ スリランカ南部住民防災意識調査を実施

昨年12月26日のインド洋周辺諸国での津波被害を受け、UN/ISDR、UNESCOの主導のもと、インド洋周辺諸国での津波早期警戒システムの構築が検討されていますが、これらの対策が有効に機能するためには、住民の地震・津波を含む防災意識の向上が不可欠です。

アジア防災センターでは、津波被災



アンケート用紙に記入する児童 (Habaraduwa)

国であるスリランカにおいて、自然災害に関する知識の普及・啓発方を提言するために、2005年3月1日から3月14日までの2週間、南部ゴール県の沿岸部6地域の住民を対象として、コミュニティレベルの防災意識に関する調査を実施しました。

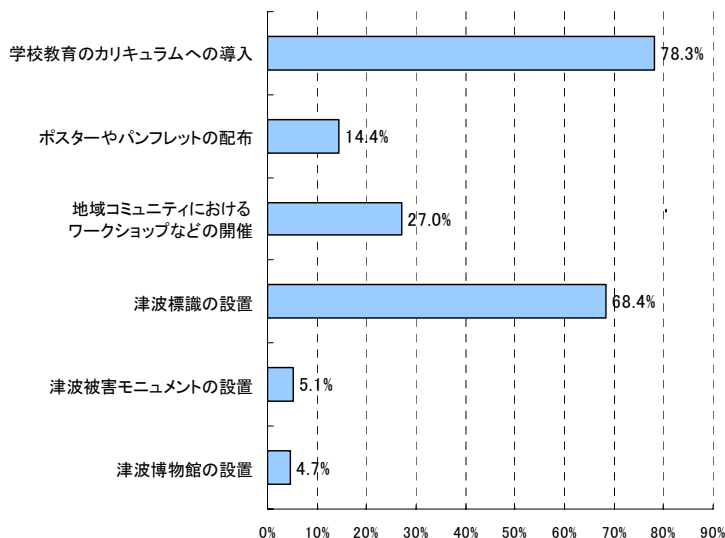
現地NGOなどの協力を得て、一般住民への面談アンケート調査 (標本数1,324)、Grade 5 (10歳前後) の学童へのアンケート調査 (標本数1,112)、行政官へのアンケート調査 (標本数110)、対象地域の被災



テントで生活する被災者 (左) へのインタビュー調査 (Hikkaduwa)

状況調査などを行い、住民や学童の防災・災害に関する知識の現状及び講ずべき対策に関する意識等が明らかになりました。例えば、住民の防災意識の向上には学校教育や標識の設置が有効であることや、地方レベルの行政官へのトレーニングが必要であることなどが分かりました。詳しい調査結果については、当センターホームページで [http://www.adrc.or.jp/publications/Srilanka\\_survey/jp/Index.html](http://www.adrc.or.jp/publications/Srilanka_survey/jp/Index.html) で紹介しております。

当センターでは、津波早期警戒システムの効率的・効果的な構築にあたっては、他の国においても同様の調査が必要と認識しています。なお、この件についてのお問合せは、児玉 (kodama@adrc.or.jp) までお願いします。



If you have comments or requests for this Newsletter, please write to ADRC at the address on the right.

Published by: Asian Disaster Reduction Center (ADRC)  
Hitomiraikan 1-5-2-5F, WAKIHAMAKAIGAN-DORI, CHUO-KU, KOBE  
651-0073, JAPAN E-mail: editor@adrc.or.jp Phone: +81-78-262-5540